

一般質問通告書

下記の件について、質問いたしたく通告いたします。

平成 24年 8月 23日

多摩市議会議員 星野 なおこ

多摩市議会議長 折戸 小夜子 殿

質問項目

1. みどりのルネッサンスについて

答弁者

市長、関係部長

受付	平成 年 月 日	No.
	午前・午後 時 分	

項 目 別 質 問 内 容

<p>私たちは、みどりとともに四季折々を感じながら暮らしてきました。春には、新緑の息吹に生きる力を、夏には木陰で涼をとり、秋は美しい紅葉に感動し、落ち葉たきで焼き芋を楽しんだこともありました。冬は、春への力を蓄える時期となり、落ち葉の中には小さな命が身を寄せ合っていました。みどりが果たしている役割には、自然とのふれあいの場、生物多様性の確保、環境の保全をはじめ、景観の向上や災害の防止など、私たちの生活を支える様々な効果がありました。</p>
<p>しかし、高度経済成長に端を発し、都市部においては都市開発によってみどりが失われていきました。昨今、この失われたみどりの復興に向けた様々な取り組みや検討が始まると共に、地域でみどりの保全・維持管理に取り組んでいる団体や、みどりにかかわっている方々が増えてきました。また、機会があればみどりに関する活動に参加してみたいという方もいます。人々の生活に密着した街のみどりの確保を図ることにより、安全で住みやすい都市環境の整備にもつながります。私は、身近な生活の場にある、みどりを通じてのネットワークが、情報の共有化や協働して活動する機会を増やし、人と環境のつながりの創出によって、新たな地域コミュニティの形成も期待できると考えています。</p>
<p>土やみどりとの触れ合いは、自然を楽しむという共通の認識が芽生え、次世代を担う子どもたちにはみどりの大切さを考える場となり、世代を超えた交流の場ともなります。自然を身近に感じることで、環境に関心が高まり、環境を良くするためには何をすべきかを考えるきっかけともなり、みどりは健康や子育て、防災・防犯など、地域のまちづくりを進めるうえで大きな資源の一つと言えるのではないのでしょうか。まちづくりや環境問題に取り組むためには、市民・市民団体・事業者・大学・行政といった地域の連携が非常に大切になってきます。</p>
<p>一方、計画都市多摩ニュータウンでは、みどり溢れる環境を残すために、街路樹の整備や公園・緑地の配置、法面への植栽などを積極的に行ってきました。しかし、このみどりを維持管理するためには、莫大な労力と予算が必要になることは言うまでも</p>

項 目 別 質 問 内 容

ありません。

「多摩しみどりの再生プラン」(素案)の基本理念である、『次世代へ継承するみどりへ』、『都市の成熟化に応じたみどりへ』、『市民が豊かさを実感できるみどりへ』のみどりと人をつなぐ取り組みを進めていくためには、めざしていく都市の姿を明確にする必要があると思います。

そこで、以下質問いたします。

(1)「多摩しみどりの再生プラン」(素案)は、第5次総合計画を柱とし、今までの「みどりの基本計画」を多様な視点で見直し、策定していますが、みどりのルネッサンスの考え方について伺います。

(2)「多摩しみどりの再生プラン」(素案)の計画目標に、『多摩市らしいみどりの形成をしていく』とありますが、『多摩市らしさ』の継承にみどりのルネッサンスをどのように反映させるのかを伺います。

(3)暮らしと調和したみどりの構築のためには、どのような取り組みを実施していくのかを伺います。

(4)みどりのリサイクルと公園緑地のリニューアルを進めていくには、どのような取り組みを実施していくのかを伺います。

資料要求欄 (資料要求がある場合は、以下に記入してください。)

①公園及び街路樹の伐採樹木の処理処分方法について(平成23年度委託契約別の焼却・リサイクル状況と処理先の一覧)